令和７年度インターハイ茨城県予選大会個人戦（R7.5.16）【アルテンジャパン武道館：茨城県水戸市】大会結果

令和７年５月１６日(金)、水戸市の東日本技術研究所武道館において　令和７年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）柔道競技大会茨城県予選大会　個人戦　が行われました。

≪大会結果≫

男子60kg級　準優勝　荒川克樹（つくば市立谷田部東中学校出身）

女子52kg級　準優勝　緒方心夏（土浦市立第四中学校出身）

男子73kg級　第３位　髙橋蒼天（かすみがうら市立下稲吉中学校出身）

男子81kg級　第３位　武井颯亮（土浦市立第四中学校出身）

女子48kg級　第３位　大里慶咲（つくば市立豊里中学校出身）

女子63kg級　第３位　中川由唯（土浦市立第四中学校出身）



【入賞した選手達（賞状を持っている者）】

≪講評≫

〇悔しい悔しいインターハイ県予選（個人戦）。優勝候補に挙げられながらも、優勝を逃してしまった。もちろん簡単に手に入るようなものではない。それでもインターハイの出場権を取れるだけの準備をしてきたつもりだ。勝利の神様は時に厳しい試練を与えてくださる。そんな大会となった。

勝たせられなかったのは指導者の責任です。選手は精一杯頑張ってくれました。しっかりと敗因を振り返り、次にこういった悔しい敗戦をしないよう、全員で笑っていられるよう精進したいと思います。

『臥薪嘗胆』！　今回の負けがあったから絶対に強くなったと言えるように頑張っていきます！

<PICK UP>

今回紹介するのは女子48kg級に出場した奥村選手（３年生）です。彼女は高校に入り努力を重ね着々と力を付けてきました。令和5年度全国選手権県予選では準優勝に輝く程の実力の持ち主です。しかしながら、後輩の台頭や度重なる怪我で充分に力を発揮できずにいました。**彼女は３年生女子部員たった一人という環境で沢山の後輩のサポートをしたり面倒を見たりしながら頑張ってきました。怪我も十分に治ることがなかった身体で、痛みををだましながら稽古を積み重ねる日々でした。**

迎えた最後のインターハイ県予選。対戦相手は昨年のインターハイ県予選で奥村が１回戦負けを喫した２年生。その選手は奥村に勝利した勢いそのままに準優勝。その強敵が神様のいたずらでまた初戦で対戦することとなりました。

組み合わせを見て、なんて残酷な組み合わせなんだろうと思いました。それでも奥村は胸を張り、自分を信じて畳の上に上がりました。**３年間の努力の成果を見せる奥村。『負けてたまるか！』そう言わんばかりの強気な攻めと気丈な背中。本当に逞しく成長してくれました。**絶対的に不利であった状況でも、粘りに粘りを重ねて、延長戦までもつれ込み、指導差にて勝利をもぎ取りました。

次の試合で負けはしたものの、**彼女の３年間の想いが詰まった試合に胸を撃たれました。感動をありがとうございます。本当に誇らしいの一言です。素敵な思い出をありがとうございました。**



【３年間の想いをぶつけて戦う奥村選手（写真右）】